

事例Ⅰ－４ 地域に応じた森林環境譲与税を活用した取組^注

宮城県南三陸町 ^{みなみさんりくちょう} ～森林経営管理制度を活用した森林整備～



〈間伐前、間伐後の状況〉

南三陸町では、町を4地域に区分し、各地域においてモデルケースとなる経営管理権集積計画の作成を行うことで、同計画作成に向けた町全体のスキームの構築と問題点の洗い出しを実施している。

4つのモデルのうち1か所では42.35haの計画作成が完了し、令和6(2024)年度は、市町村森林整備事業(切捨間伐)14.78haを実施した。また、別の箇所では計画作成に向けた改善点等のフィードバックも行っている。

【事業費：781万円】

新潟県長岡市 ^{ながおか} ～花粉症対策にも資する森林整備の推進～



〈花粉症対策による森林整備
(主伐後)の状況〉

長岡市では、森林整備を一層推進するため、林業経営体等が国及び県の補助を受けて実施する森林整備について、市による上乗せ補助を実施している。

令和6(2024)年度は、森林環境保全直接支援事業による再造林と間伐・保育事業に加え、新たに花粉症対策である林相転換特別対策による森林整備等にも支援することとし、同対策による主伐・再造林0.79haのほか、森林環境保全直接支援事業による再造林、下刈り、間伐への上乗せ補助を実施した。【事業費：2,621万円】

群馬県中之条町 ^{なかのじょうまち} ～「林業実践学校」の開催による人材確保～



〈刈払機・チェーンソー講習会の様子〉

中之条町では、地域における急速な人口減少や高齢化に伴い、山林所有や森林経営に対する関心の希薄化が課題となっている。

このため、森林の手入れを行える人材の安定的な確保に向けて、森林所有者や森林経営に意欲を示す者等を対象に刈払機やチェーンソーの取扱いなどの基本的な林業技術の習得を目的とした「林業実践学校」を開講し、刈払機講習会に64名、チェーンソー講習会に7名が参加した。【事業費：199万円】

茨城県鹿嶋市・大子町 ^{かしま だいごまち} ～海と森のつながりを考えるツアーの開催～



〈森林での講義、間伐体験の様子〉

鹿嶋市では、将来を担う市内の子供たちに、身近にある海と森がそれぞれの役割を果たしながらつながっていることを学んでもらうため、大子町と連携して体験ツアーを開催した。

鹿嶋市内の小学校4～6年生20名が参加し、大子町において森林の役割などの講義や間伐体験を通じて海と森のつながりを学ぶとともに、間伐した木材を同町内小学校の学校林内の階段に使用するなど、同町内の小学校との交流も深めた。【事業費：109万円】

注：事業費は森林環境譲与税を財源とした額を記載。